A large, circular line-art outline of a town or village, featuring various buildings, trees, and a central arrow pointing right. The outline is centered on the page and frames the main title.

コロナで変わる社会を見据えた
町内会の役員
の
担い手確保・加入促進

令和3年（2021）年 手稲区
作成協力：株式会社Glocal Design



目次

1. 町内会のいま

- 地域コミュニティの中心的な担い手「町内会」のいま・・・3
- 地域コミュニティを支える町内会・・・・・・・・・・・・・・3
- 手稲区のまちの状況を知ろう！・・・・・・・・・・・・・・4
- 手稲区の町内会が抱える3つの課題・・・・・・・・・・・・・・5

2. 担い手不足の要因と解決方法は？

- なぜ、担い手不足になるのか？・・・・・・・・・・・・・・6
- 担い手不足の処方箋～まずはこの2つから・・・・・・・・・・6
- アンケート調査でニーズの把握と人材発掘・・・・・・・・・・7
- コミュニケーションツールを活用しよう！・・・・・・・・・・9

3. コロナで変わる町内会活動

- コロナによる町内会への影響は？・・・・・・・・・・・・・・13
- コロナで変わる暮らしをチャンスにする・・・・・・・・・・・・13
- コロナで変わる4つのニーズ・・・・・・・・・・・・・・13
- 感染症対策を行なって集会やイベントをひらこう！・・・・14
- 若い世代や地域に戻ってきた人々に参加してもらおう！・・15

4. これからの町内会運営のヒント

- 多様な主体による連携・・・・・・・・・・・・・・17

5. 参考資料

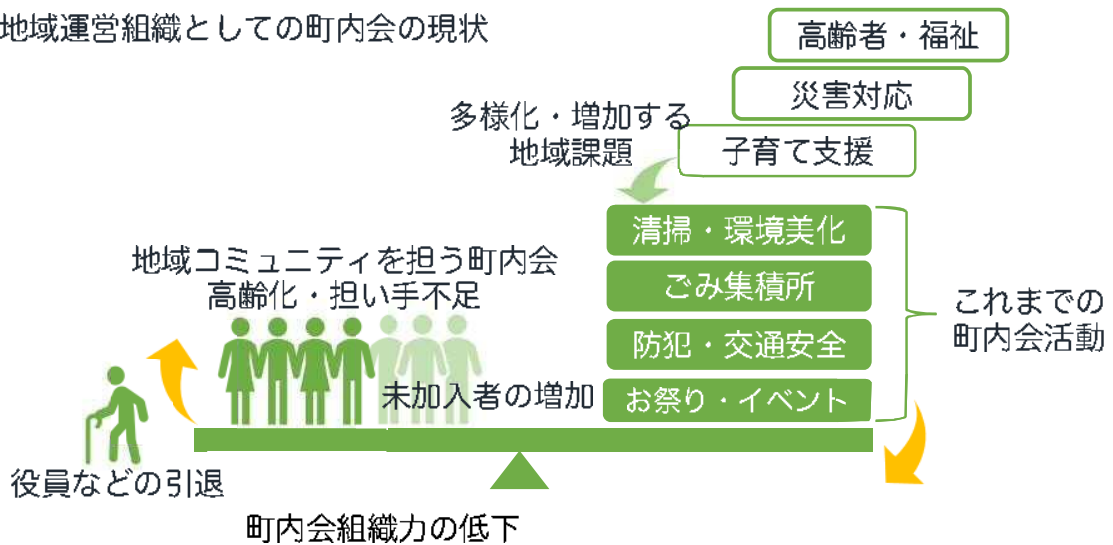
- アンケート調査票様式・・・・・・・・・・・・・・19
- 書面総会資料様式・・・・・・・・・・・・・・20

1. 町内会のいま

地域コミュニティの中心的な担い手「町内会」のいま

町内会は「地域運営組織」として、地域コミュニティの中心的役割を担ってきました。しかし、多様化するニーズや少子高齢化などにより、町内会にはこれまでに比べ、多様な役割が求められています。一方、高齢化や担い手不足、未加入者の増加などにより、町内会組織力の低下が見られます。

■地域運営組織としての町内会の現状



地域コミュニティを支える町内会

ごみステーションの管理や清掃などの環境美化、除排雪の協力、防災活動など町内会の活動は、地域住民の暮らしを支える大切な活動です。

町内会は地域の人々の暮らしを支える大切な組織と言えます。

ライフスタイルが多様化する中で見守り活動など新たな地域課題も生まれており、こうした課題に対応することも求められているため、町内会組織はこれまでの活動に加えて、地域コミュニティを運営するという視点が求められています。

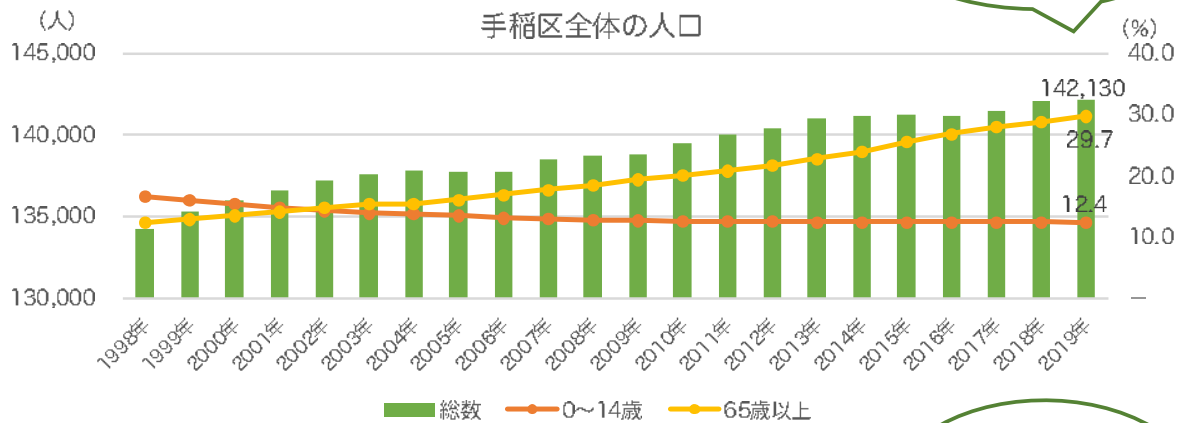
■地域コミュニティの変化



手稲区のまちの状況を知ろう！

手稲区の人口は年々増加しています！
一方、少子高齢化が進んでいます。

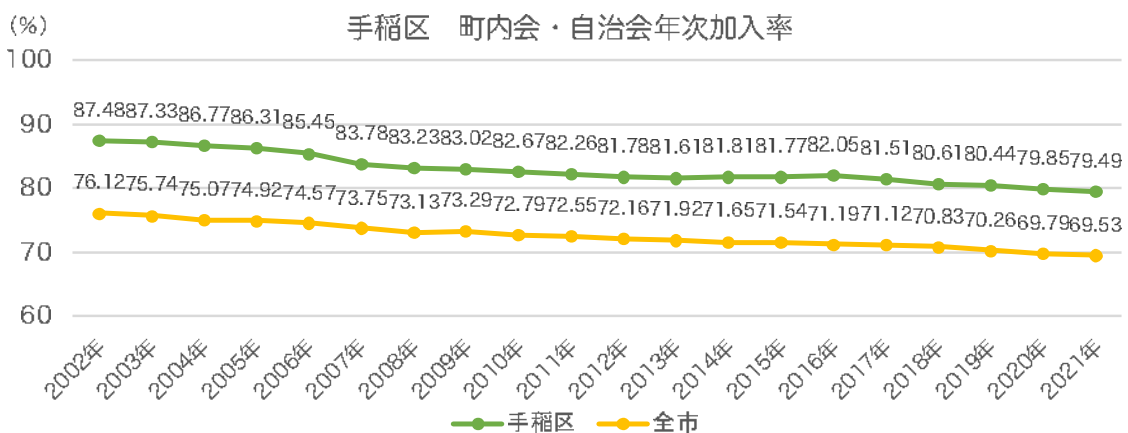
世代別では、0～14歳は減少傾向にあり、65歳以上が増加しています。



手稲区の町内会の加入率は、札幌市内で2位！
しかし、20年前と比較して減少傾向。

手稲区の町内会・自治会の加入率は79.49%と高い傾向

区別状況	連町数	単町数	人口	総世帯数	加入世帯数	加入率(%)
中央区	16	257	247,635	141,781	89,087	62.83
北区	11	312	288,374	140,201	101,654	72.51
東区	10	274	264,562	130,492	88,344	67.70
白石区	8	142	213,057	111,760	65,851	58.92
厚別区	6	82	124,841	57,830	43,795	75.73
豊平区	9	293	224,246	118,408	80,858	68.29
清田区	5	102	113,408	46,565	35,293	75.79
南区	10	248	135,906	61,992	50,302	81.14
西区	8	286	219,035	105,274	74,512	70.78
手稲区	7	192	141,789	60,344	47,966	79.49
全市	90	2,188	1,972,853	974,647	677,662	69.53



▶ 手稲区の特徴から考える町内会の課題へのアプローチ

● 会員のニーズに沿った事業を行い、町内会に参加してもらおう

戸建てが多く、地域づくりへの関心は高いことが想定されるため、会員のニーズを把握して事業を行うことで町内会の必要性を感じてもらい、参加をしてもらいましょう。

● 参加できるきっかけづくりを増やす

今まで町内会に関心を寄せていなかった世代が参加しやすいテーマでのイベント開催や組織づくりを行い、さまざまな切り口から参加できる「入り口」をつくるのが大切です。

手稲区の町内会が抱える3つの課題

手稲区の町内会が抱える課題は、大きく下記の3つです。それぞれの課題に対しての具体的なアプローチ方法をご紹介します。

01



役員の担い手不足と高齢化

役員の担い手不足と役員の高齢化という課題を抱えています。

アンケート調査により、新たな人材の発掘と事業の棚卸しを行い、役員の負担軽減につなげましょう。

P.6へ

02



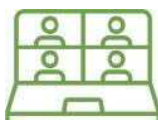
参加者の減少・関心の低下

参加者の固定化や活動の慣習化から住民の関心が少ないことが懸念されています。

ターゲットに合った方法で情報発信を行い、町内会活動への関心を高めてもらいましょう。

P.9へ

03



ウィズコロナの町内会運営

コロナ禍で町内会活動をどのように運営していくのか頭を抱えている町内会が多くあります。

コロナ禍で変化したライフスタイルや価値観に合った活動や運営を検討しましょう。

P.13へ

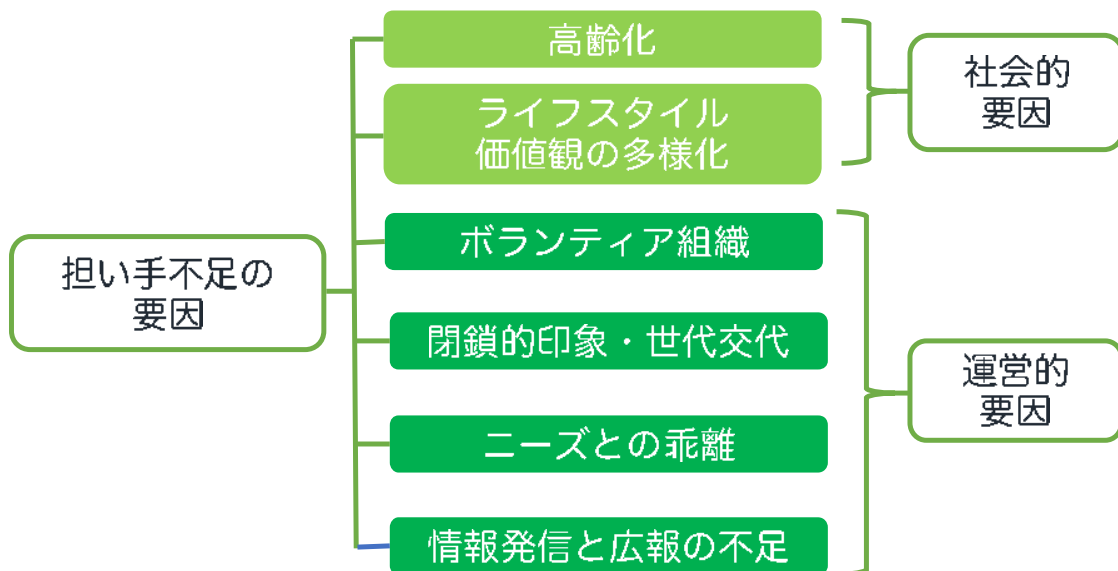
2. 担い手不足の要因と解決方法は？

なぜ、担い手不足になるのか？

町内会・自治会の担い手不足は、全国の町内会・自治会の共通した課題です。

担い手不足の要因は、高齢化やライフスタイルの変化など「社会的要因」と町内会・自治会組織の「運営的要因」があります。

担い手不足から脱却するためには、「社会的要因」を理解し「運営的要因」を改善することが求められます。



担い手不足の処方箋～まずはこの2つから

担い手不足に対する解決の手がかりとしては、大きく2つの手法があります。

①アンケートの実施

会員との課題の共有、ニーズの把握と活動の棚卸し、人材の発掘

②情報発信の強化・コミュニケーションの活発化

FacebookページやLINEなどSNSの活用、掲示板の工夫

アンケート調査でニーズの把握と人材発掘

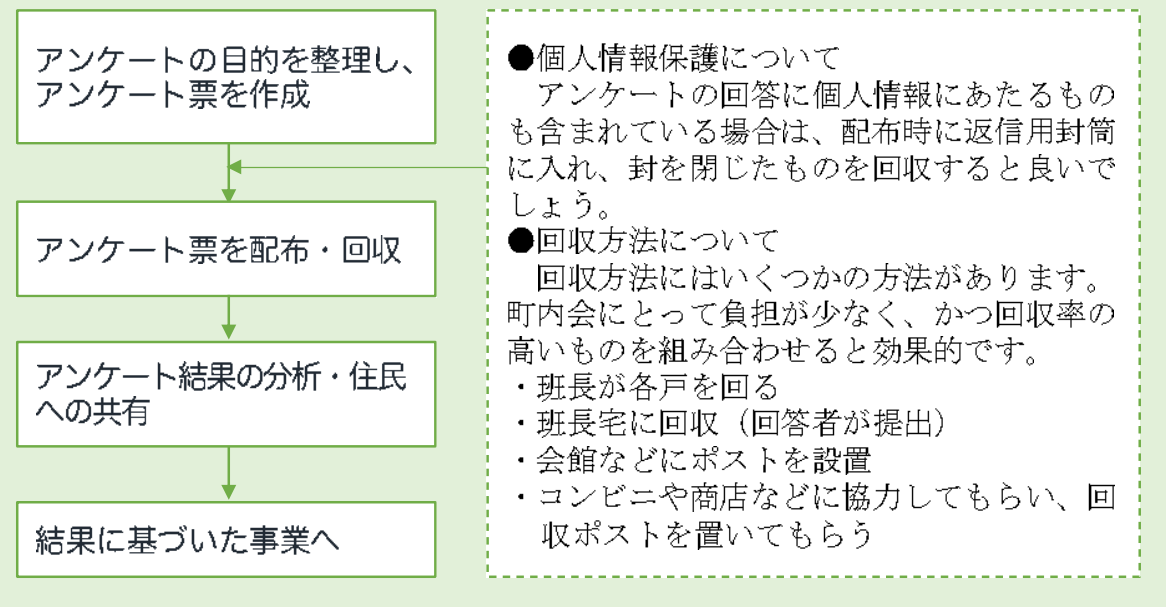
ライフスタイルの多様化や社会状況の変化により、町内会・自治会の役員は、必ずしも会員のニーズを十分に把握している状況にあるとは言えません。

そこで、町内会・自治会で会員に対しアンケート調査を実施し、会員ニーズを把握した上で、町内会・自治会ごとの課題や活性化に向けた対策を考える必要があります。

アンケート調査は、担い手の発掘、ニーズの把握、活動の見直し(棚卸し)、町内会・自治会の課題の共有を行うことができます。

STEP1 会員を対象としたアンケート票の作成と調査の実施

アンケート調査の流れ (例)



アンケート項目 (案)

【想定されるアンケートの設問 (基本設問)】

- 町内会・自治会の会員の属性など(年代、性別、世帯の構成など)
- 参加したことのある活動(活動の見直しのヒント)、今後必要だと思われる活動
- 町内会・自治会へのイメージ・印象、人のつながり
- 担い手不足に対する会員の意見・意向
- 町内会組織運営への参加の意識(役員やサポーターへの就任について)
- 希望する情報発信方法(回覧板、掲示板、メール、SNSなど)
- 自由意見 など

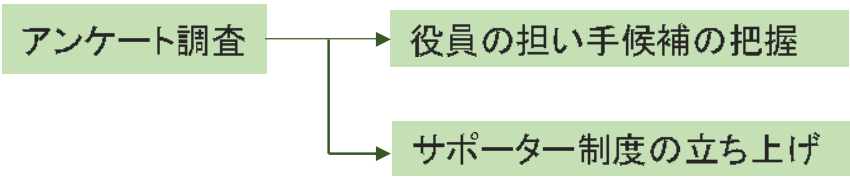


【各町内会の課題に合わせた設問】

STEP2 人材発掘と事業の棚卸し

人材発掘

役員の担い手不足の対応としては、アンケート調査で人材発掘を行うことが考えられます。同時に、仕事や家庭の空いた時間で無理なく参加できるサポーターの発掘も行います。



事業の棚卸し

担い手不足の要因には、町内会・自治会の活動が会員ニーズと乖離していることもあります。そこで、アンケート調査を行い、活動の棚卸しと、ニーズに対応した新しい活動の追加などの見直しを行うようにします。

事例

町内会区域全戸へのアンケート票の配布 (西区山の手第40町内会)

- 回覧板にアンケート票を添付し、町内会会員にアンケート調査を行った。
- 同時に未加入世帯や若い世代も回答しやすいようにWEBでのアンケート回答フォームのQRコードを付けた町内会活動の周知のためのチラシも配布し、多世代の意見を聞いた。
- その結果、13名の役員候補・サポーター候補者を抽出した。

アンケート票の提出先をコンビニに協力してもらおうと、若い世代の回答率がUP!

ご自身の町内会でも活用できるよう、この冊子の参考資料にフォーマットを添付していますので、ご活用ください!

コミュニケーションツールを活用しよう！

新型コロナウイルス感染拡大により、対面でのコミュニケーションが減少し、LINEなど電子媒体を用いたコミュニケーションツールの導入を検討している町内会が増えています。

多様なコミュニケーションツールを活用することで、役員の負担軽減を図るとともに、会員のニーズの把握や若い世代に関心を持ってもらう仕組みに発展させることができます。

STEP1 コミュニケーションツールの決定

電子媒体を用いたコミュニケーションツールは多様であり、その特性もさまざまです。各町内会・自治会の目的や特性にあったツールを選択し、活用することが大切です。

■各コミュニケーションツールと特徴

	使用目的	掲載内容	ツール
広く拡散 / 気軽な コミュニ ケーシ ョン ↓ 狭い/深 いコミュ ニケー ション	【情報発信】 会員以外へ町内会活動の 情報発信を強化したい	・町内会行事 ・各部会の活動	・Facebookページ ・LINE ・LINE公式アカウント
	【情報共有】 会員の中で町内会の活動 や情報を共有したい	・事業計画 ・会議、役員会 ・年間行事 ・町内会会報 ・地区センター便り ・学校だより	・電子回覧板 ・Facebookページ ・LINE ・LINE公式アカウント
	【コミュニケーション】 会員同士の意思疎通を大 事にしたい	・会話 ・会議 ・見守り	・Facebookページ ・LINE ・BAND



	ツール	ツールの特性	町内会の特性
小規模・ 若い世代 ↓ 大規模・ 比較的高齢	SNS ・Facebook ページ ・LINE ・LINE公式ア カウント ・BAND	すでに使用している人も多く自 由度が高いため、発展的利用 が可能である。	・世帯数少 ・若い町内会 ・発展的活用
	電子 回覧 板 ・結ネット ・E メッセー ジ回覧板 ・町内開帳	電子回覧板用アプリであるため、 使いやすい。	・世帯数多 ・高齢化層多 ・基本的活用

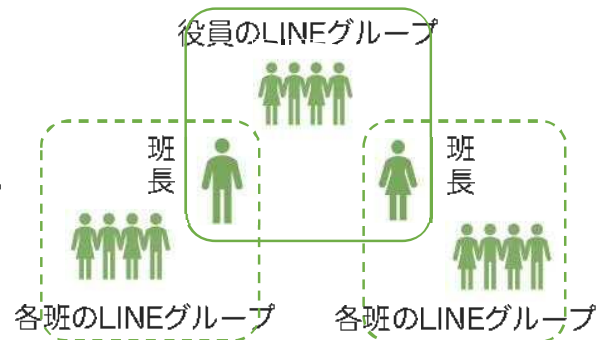
STEP2 主なツールの活用方法

LINEグループを用いた町内会・自治会の情報共有

LINEは多くの人を使用しているコミュニケーションツールの一つであり、町内会・自治会の情報共有で活用することは比較的ハードルが低いと考えられます。

▶ LINEグループを活用した情報共有

- 各班のLINEグループでは、会員同士のコミュニケーションを図ります。
- 役員LINEグループで、役員からの連絡事項などを班長に伝え、班長から会員へは各班のLINEグループで伝えます。
- 課題があった場合は、班長から役員LINEグループに連絡します。



4つのメリット

①	発言がしやすい規模である班のLINEグループを作ることで、コミュニケーションが取りやすい。
②	会議の開催や書類の回覧などの回数が減り、役員・班長の負担が軽減される。
③	すぐに情報共有が可能となるため、連絡事項が早く伝わり、会員からもすぐに返信が貰えるため、意思決定を早くできる。
④	返信がしやすく、発言も気軽にできるため、会員のニーズが把握しやすい。

事例

LINEグループを活用したコミュニケーション (手稲区富丘山の手町内会)

- 役員間では、LINEグループで情報共有や合意形成を行なっている。
- コロナ禍で大人数が集まった子ども向け行事ができないことを受け、スタンプラリーを企画した際は、LINEグループで資料の作成や当日の流れの共有を行なった。



Facebookページやホームページを用いた情報共有と広報

新型コロナウイルス感染症対策や役員の負担軽減、町内会活動のPRなどを目的とした情報発信をより効果的に行うためにFacebookページやホームページによる情報発信が有効です。

▶ Facebookページやホームページを活用した情報発信

- 回覧板の内容や、イベントのお知らせ・報告などを発信します。
- 誰でも閲覧することができるため、広報の代わりとしても活用できます。
- Facebookページやホームページの開設時には、投稿担当者や運用のルールづくりが必要です。

3つのメリット

1	転入してきた方・転入を予定している方の情報の獲得源になる。
2	インターネットを主な情報源としている若い世代や働き世代に向けて情報を発信できる。
3	以前地域に住んでいた方(引っ越した方)も、継続的に地域情報を得ることもできる。

事例

充実した内容で町内会活動を親しみやすく (中央区宮の森中央町内会)

- Facebookページとホームページで、地域の特徴や町内会の役割を丁寧に紹介。
- 豊富な写真で町内会活動の様子をわかりやすく紹介し町内会活動への参加を呼びかけ、町内会に関わりの少ない世代にもどのような参加の方法があるかを紹介している。
- 町内会の基本的情報や問い合わせフォームをホームページに掲載し、Facebookページは日々の活動報告や何気ない地域のニュースなどを紹介することで、より町内会を身近に感じてもらえるような工夫がされている。



回覧板を電子化

スマートフォンの普及によってLINEなどのコミュニケーションツールが一般化しつつあります。

町内会の情報発信の基本であった回覧板を電子化することで、役員の負担軽減や若い世代が町内会の情報を得やすくなります。

▶ LINE公式アカウントを活用した情報発信

- LINE公式アカウントでは、アカウントの登録者に画像やテキストなどを一斉送信することができます。（メッセージ配信機能）
- 回覧板や掲示板のように用いることができ、町内会における情報共有の方法として効果的です。
- 紙の回覧板と併用してLINE公式アカウントを活用する町内会もあります。

▼メッセージ配信機能



3つのメリット

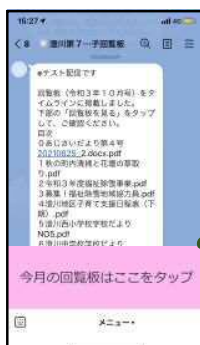
- ① LINEは日常で多くの人を使用しているため、使い慣れている人も多い。
- ② メンバーが返信や反応を管理者に送ることが出来る。
- ③ 1ヶ月分の友達の登録数やメッセージの投稿数を集計を行い分析できる。

※一方で、使用者はLINEの登録が必要になることや、LINE公式アカウントの無料プランは月に送ることができるメッセージ数に限りがあります。

事例

紙の回覧板と併用したLINE公式アカウントの運用 (南区澄川第7町内会)

- 澄川第7町内会では紙の回覧板と併用して、LINE公式アカウントによる回覧内容の概要を配信している。
- LINE公式アカウントの配信から簡単にホームページに掲載している回覧書類のデータを見ることができ、町内の情報共有の効率化につながっている。



LINE公式アカウント

ピンク色の
バナーをタップ



澄川地区連合会のホームページ

回覧物のデータ
が見られる！

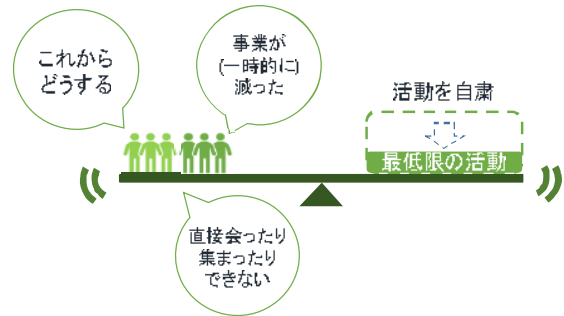


3. コロナで変わる町内会活動

コロナによる町内会への影響は？

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの町内会・自治会が夏祭りなどのイベント活動を休止し、必要最低限の活動だけにとどめることを余儀なくされました。

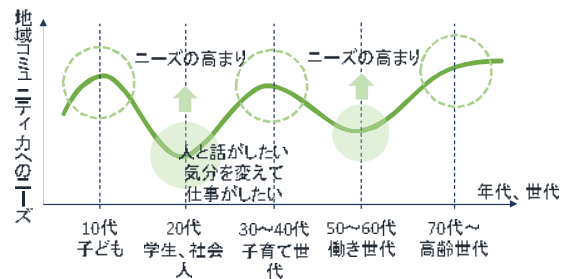
そうした中でこれまでの事業を見直したり、今後取り組むべき活動も見えてきたのではないのでしょうか。



コロナで変わる暮らしをチャンスにする

新型コロナウイルスの影響でこれまで地域コミュニティと関わりが少なかった世代が、地域に関心をもち始めています。

新型コロナウイルスで変化した暮らしを若い世代に参加してもらってチャンスと捉え、こうした世代のニーズにあった活動再開について検討することが必要です。



コロナで変わる4つのニーズ

①地域コミュニティで過ごす時間が増え、知りたくなる

在宅ワークや外出控えにより自宅や近所などで過ごす時間が増え、地域のことを知りたくなります。



②地域コミュニティで居場所のニーズが高くなる

在宅ワークが増えると今まであった社会との接点が減少するため、自宅以外の「居場所」を求めるようになります。



③地域コミュニティで人や社会とつながりたくなる

誰かと話したいと思うようになったり、地域コミュニティの活動を通じて、社会の役に立っていることを実感したい人が増えます。



④オンラインが日常になる

人との接触を減らすことから地域コミュニティの活動にもオンラインを取り入れることが求められます。

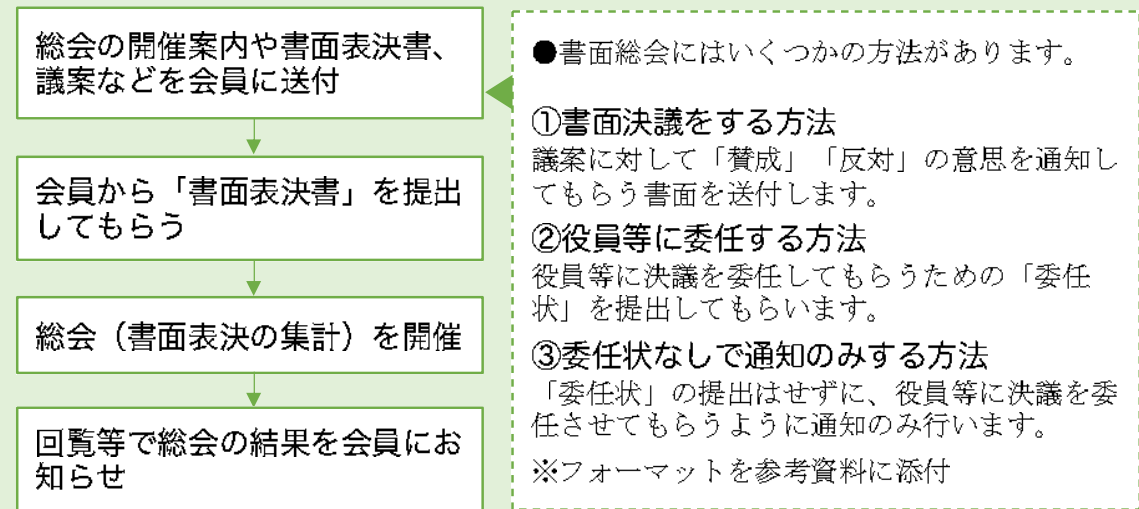


感染症対策を行なって集会をひらこう！

新型コロナウイルス感染拡大により、対面での会議や総会などが難しくなりました。今後、感染症対策等の観点から、役員会などの開催が難しくなった場合、書面やオンラインを活用して決議をとる方法があります。

書面総会の効率的な手法

書面総会の流れ



※地方自治法第260条の2により市の認可を受けた「認可地縁団体」の総会については、初めから会員が実際に集まる機会を設けずに、書面決議のみで総会とみなす手法は、原則認められません。詳細については、札幌市公式ホームページ「地縁による団体の認可」(<https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/chounaikai/ninkachien.html>)をご確認ください。

Zoomのオンラインビデオ会議による役員会の実施

コロナ禍で、役員会など対面での開催が難しくなった町内会では、非対面式のビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を活用する方法があります。

こうしたシステムの導入により、町内に暮らす30、40代の若手メンバーからサポートを受け、町内会に参加してもらうきっかけにすることもできます。

事例

Zoom講習会とZoomを用いた役員会の試行 (千歳市白樺町内会)

- 対面で役員会を行えない場合に備え、役員がZoomを利用できるように講習会を開催しました。役員それぞれが利用できるパソコンやスマホなどで参加し、アカウント作成や定期的な会議に参加する方法を共有した。



若い世代や地域に戻ってきた人々に参加してもらおう！

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域コミュニティで過ごす時間が増え、地域コミュニティに関心を持つ若者が増えている一方、町内会・自治会は閉鎖的で、参加しづらいといった意見や、そもそも町内会の活動知らないといった若い世代が多い状況です。

今後、町内会・自治会に参加してもらうためには、まずは町内会に対する関心を高める必要があります。

関心の高いテーマから気軽な参加を促す

若い世代の関心が高い事業を実施することで、町内会活動に関心を持ってもらい、参加につなげやすくします。アンケート調査で聞き取るなどにより関心の高い事業を知る方法があります。

若い世代に関心の高い事業の例

例①：「環境問題」「エコ」

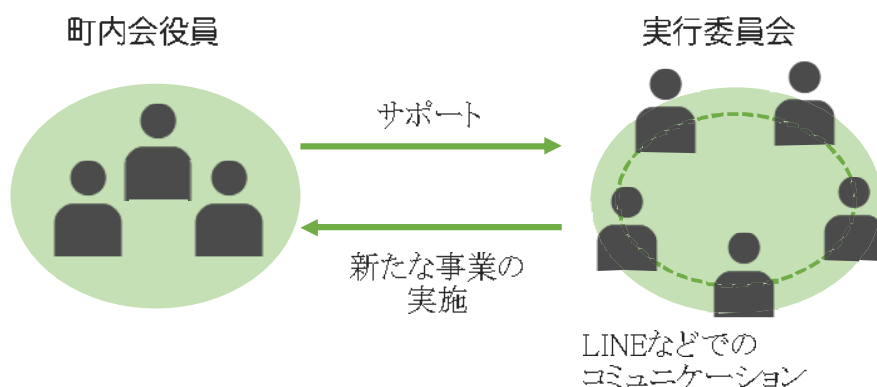
- ・ 町内をゴミ拾いをしながらまち歩きするなど、楽しく参加できるイベント
- ・ 清掃活動を行い、特にゴミのポイ捨てが多かった箇所や多かったゴミなどを周知するマップの作成
- ・ 夏祭りが出るプラスチックゴミを最小限に抑えるためオリジナルのエコボトルの配布、ボトル持参の会員には割引サービス など

例②：「子育て」「子ども」

- ・ 手芸や絵などの得意な会員が夏休みの自由研究に使えるワークショップを開催
- ・ 子ども食堂を運営するNPOなどと連携した、期間限定の子ども食堂の実施
- ・ 託児スペースを用意し、子育て中のお母さんたちが集まって趣味などを楽しめるイベント など

実行委員会方式などで事業を実施

町内会の役員会などメンバー同士のつながりが強い組織に、若い世代などが新たに参加し、活動することはハードルが高いものです。そこで、役員会とは別の実行委員会を立ち上げて夏祭りや新事業を行うことで、若い世代が参加しやすい組織づくりを進めることができます。



サポーター制度の設置と活用

サポーター制度は、町内会活動のお手伝いを担ってくれる住民を登録し、行事の運営スタッフなどを手伝ってもらう仕組みです。現役世代なども無理なく、時間の都合が合う時だけでも町内会活動に参加できるため、若い世代の町内会参加のきっかけとして、取り入れる町内会が増えています。

▶ サポーターに活躍してもらおうちょっとした工夫

気軽に
参加
しやすく

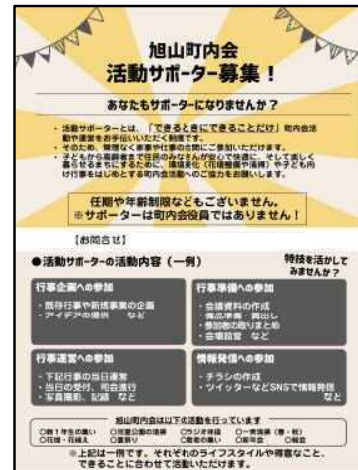
若い世代の目を引くチラシなどで、サポーターの募集をかけてみましょう。

無理強い
しない

サポーターの暮らしや興味のあることを優先し、負担にならないように配慮しましょう。

企画から
参加

企画段階から参加してもらえると、今後の役員の担い手につながりやすいです。



事例

アンケート調査からサポーター発掘へ (中央区旭山町内会)

- アンケート結果を踏まえて、「活動サポーター制度」を立ち上げた。その際、アンケートにて「サポーターとして手伝いが可能である」と回答した住民に対して顔合わせ会を開催。20名程度が参加し、その後の効率的な制度運営につながった。



サポーター制度から自立した若い世代のネットワークへ (白石区共栄第三町内会)

- サポーター登録の制度である「活動協力員制度」を設置し、有志の若い世代を中心に、町内会の「サマーフェスタ」を企画から運営まで活動協力員にお任せ。
- 活動協力員同士のネットワークができ、交流が活発に行われることで、若い世代も楽しく自主的に活動することができている。



会長が協力員登録への声かけで重視したポイント

- 「仕事と家庭が第一」と割り切る
- 将来は、会長及び役員の担い手として活動してもらう
- 若い人の意見を尊重する（イベントを任せるなど）
- 会議出席は代理でも可。子連れでの参加も可

SNSなどでサポーターのネットワークをつくると、気軽なお手伝いにつながりやすい。

4. これからの町内会運営のヒント

多様な主体による連携

担い手不足や役員の高齢化などさまざまな課題を抱える中、町内会・自治会を活性化するためには、町内会単独で活動を行うだけでなく、外部の多様な主体と連携していくことも必要です。

まずは、会員へのアンケート調査などをもとに、町内会組織として実施すべき活動と外部連携して行う活動に分けて検討し、外部の活動主体へのアプローチを行うことから進めます。

外部の活動主体との連携には、定期的な情報交換とオープンな町内会運営が必要であり、連携する活動団体に役員会へ参加してもらうことも想定して検討します。

ただし、町内会・自治会組織に外部のメンバーが入ることに抵抗がある場合には、最初は部分的に参加してもらい、段階的に参加頻度を高めるなどの方法を考えます。

■多様な主体と連携するための準備

地域コミュニティへのニーズと町内会の現状を共有

今後の町内会の課題や地域コミュニティへのニーズ、町内会組織の現状を役員および会員と共有します。

●基礎データの共有

- ・ 数年後に町内会で起こるであろう課題を共有します。

●地域コミュニティへのニーズの共有

- ・ 会員へのアンケートなどをもとに集計した、今後の地域コミュニティへのニーズを共有します。

外部団体との連携を検討

現状の課題を踏まえつつ、自分たちの地域コミュニティでどのような暮らしができるか考え、外部団体との連携による活動を検討します。

●町内会組織で行う活動の整理

- ・ 町内会組織の現状と地域コミュニティへのニーズを踏まえて、町内会組織で行う活動と外部団体と連携して行う活動を分けて検討します。

●外部団体との連携への理解

- ・ 外部団体との連携が役員の負担軽減や町内会活動の活性化につながることなどの利点について役員間で共有します。

ネットワーク組織の運営

地域コミュニティの目指す姿を実現するために、外部団体と連携したネットワーク組織について検討します。

●ネットワーク組織の運営ポイントの情報提供

- ・ 地域コミュニティの目指す姿を実現するために、町内会・自治会が外部団体と連携したネットワーク組織の運営について検討し、外部団体も加わった運営会議などを創設します。

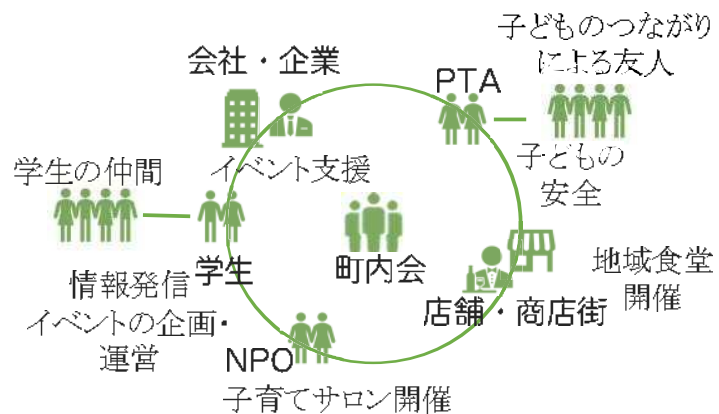
多様な活動主体との連携及び町内会・自治会同士の連携イメージ

地域コミュニティ力を高めるためには、多様な活動主体との連携や町内会・自治会同士の連携・合併が考えられます。

●多様な活動主体との連携

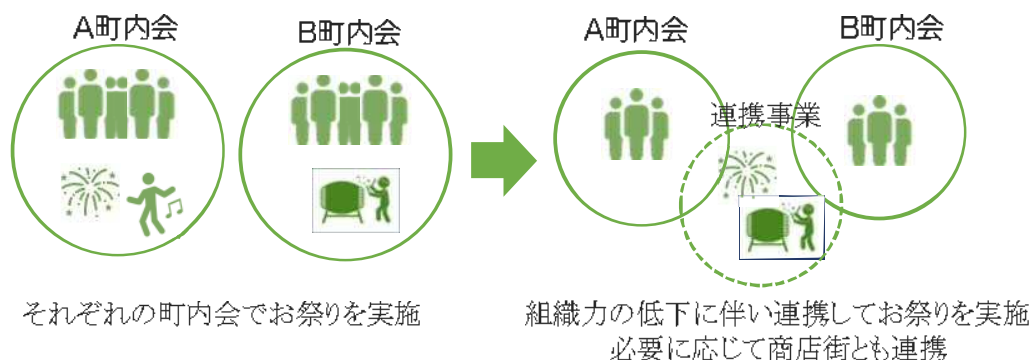
町内会・自治会の課題を解決するために多様な活動主体と連携します。

連携のためには、コミュニケーションツールなどを活用する必要があります。



●町内会・自治会同士の連携

夏祭りなどの多くの人員や資源が必要な事業については、近隣町内会などと連携し、合同で実施するなどの手法も効果的です。



事例

北海道科学大学と合同のゴミ拾い

(札幌市手稲区 四季彩の街・テイネニュータウン町内会、前田ゆたか町内会、前田わらび北町内会、前田わらび南町内会、曙第7町内会、曙第22町内会、曙第24町内会、稲山第一町内会)

- 北海道科学大学の学生・教職員約320名が大学周辺の8つの町内会を対象にゴミ拾いを行っている。
- 協学会・ボランティア局・体育局・文化局が中心となり大学の全クラブ学生その他、学生・教職員も参加して毎年行われており、今年で34回目を迎えた。
- 学生たちは軍手とゴミ袋を手に大学周辺の通学路や町内会内の各公園、新川河川敷の一部を中心に町内会の方々とともにゴミ拾いを行った。



アンケート調査票様式

ダウンロードURL

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/chounaikai/hint/document/s/survey.docx> (URLにアクセスすると自動的にダウンロードされます)

今後の町内会活動や 町内会組織の運営に関するアンケート

アンケート回答にご協力をお願いします。

平素町内会活動にご協力ありがとうございます。●町内会では、よりよい地域づくりに向けて、多くの会員の皆様は町内会活動へ参加・ご協力を頂きながら、さまざまな取組を行っていると考えています。しかしながら、役員の手不足や行事の増加などにより資金の不足の懸念が、課題となりのつりやります。

そこで、会員の皆様は町内会活動へのご要望や参加状況、町内会運営の参加・支援などの可能性を伺い、よりよい町内会運営に役立てていきたいと考えています。

つきましては、アンケートを下記のとおり実施いたしますので、お忙しいところ大変恐縮ですが、回答にご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

なお、アンケート結果につきましては、後日回答などお知らせいたします。

- 調査対象
 - 町内会会員
- アンケートの内容
 - 「今後の町内会活動や町内会組織の運営に関するアンケート」
 - P2～4ページのとおりに
- 提出方法
 - アンケートを封筒の封筒に封入して名前を記載いただき、各様の部長のポストに、投函いただきますようお願いいたします。
- 提出期限
 - (下記の通り) 2019年●月●日 (●) まで
- アンケートの扱いおよび個人情報等の取り扱い
 - アンケート内に、役員引き受け可否に関する質問があるため、匿名式となっております。しかし、郵送ではありません。結果につきましては「町内会活動や町内会組織の運営」などの検討以外には使用いたしませんので、当様の率直なご意見をお寄せください。
 - また、頂いた個人情報等は、その扱いに十分配慮するとともに、本町内会の運営に関する検討のみに使用します。

締切: 2019年●月●日 (●) 無回答でも必ずご提出ください

お問い合わせ: ●●町内会長 ●●

TEL: 011-000-0000

裏面にご記入をお願いします

1

1. 町内会の行事について

(1) これまで町内会の活動や行事に参加したことはありますか？(1つに○)

① ある ② ない ③ わからない

(2) (1)で「ない」と回答した方に伺います。参加しない・参加できない理由は何ですか。(あてはまるものをすべてに○)

① いつのまにか行事が行われているから知らない、情報が届いていない
 ② 地域活動に取り組む時間がない、活動の曜日や時間帯が合わない
 ③ 自分の用事を優先したい ④ 参加のきっかけがない(地域からの声かけなど)
 ⑤ 一人では参加しづらい ⑥ 雨害感や参加しづらい雰囲気がある
 ⑦ 魅力を感じない ⑧ 負担が大きすぎる
 ⑨ 参加のメリットを感じない ⑩ 地域の人との付き合いが苦手らしい
 ⑪ 活動方針や考えが合わない ⑫ その他 ()

(3) 町内会でされている次の活動・行事について、それぞれお答え下さい(あてはまるものをすべてに○)

活動・行事名	知っている	参加したことがある	今後も継続してほしい	今も継続する必要はない	内容や時期を変えてほしい
① 新1年生の集い					
② 一斉点検(音・炊)					
③ 花壇・花植え					
④ 児童公園の清掃					
⑤ フジ子体操					
⑥ 夏まつり					
⑦ 連野大運動会					
⑧ 曹田神社例祭					
⑨ 敬老の集い					
⑩ 餅つき会					
⑪ 子どもカルタ大会					

(4) (3)の「内容や時期を変えてほしい」と回答した方にお聞きします。今後の実施内容や時期の検討が必要な活動・行事について、理由をお聞かせ下さい

(活動・行事名)
(理由)

2

(5) (3)の他に、どのような活動・行事があれば参加したいと思いませんか。(あてはまるものをすべてに○)

① 交通安全 ② 町内会本部メール ③ 子ども見守り活動
 ④ 交通安全の安全指導 ⑤ 子どもクリスマス会 ⑥ 子育てサロン
 ⑦ 女性部交流会 ⑧ 女性部展示委員会 ⑨ 健康講座
 ⑩ 町内防災訓練 ⑪ 趣味の集い ⑫ 料理教室
 ⑬ その他 ()

(趣味の集い)と回答された方は、具体的に希望する内容や、ご自身が減えられることについてお書きください。(ex. 習字、料理、園芸、園芸、写真など)

(6) あなたは町内会の活動・行事などの企画に関わりたいと思いませんか。(1つに○)

① 一人でも関わりたい ② 知人等と一緒に関わりたい
 ③ どちらともいえない ④ 関わりたくない ⑤ わからない

2. 町内会の情報発信について

(1) 次のうち、受け取りやすい情報発信方法はどれですか？(あてはまるものをすべてに○)

① 回覧板 ② 集合住宅の掲示板
 ③ ポスティング(全戸配布) ④ Facebook(フェイスブック)
 ⑤ LINE(ライン) ⑥ その他のSNS(TwitterやInstagramなど)
 ⑦ ホームページやブログ ⑧ メール(メールアドレスやメーリングリスト)
 ⑨ その他 ()

(2) 現在、町内会では試行的にTwitterで情報発信を行っています。ご存知でしたか？(1つに○)

① 知っていた ② 知らなかった ③ わからない

(3) 現在、会員名簿と地図をプリントで配布していますが、保護された電子データ(パスワード付きPDFファイルなど)の提供も必要と思いませんか？(1つに○)

① 必要だと思う ② 必要ない ③ わからない

3. 町内会の運営や活動について

(1) 本アンケートの結果を受けて、町内会での新たな事業や既存事業の拡大を行う際、事業への参加や金銭的な支援・寄付などのサポートのご意向はありますか？(あてはまるものをすべてに○)

① 興味のある内容であれば、参加したい
 ② 興味のある内容であれば、寄付してもよい
 ③ 条件付で寄付してもよい(条件)
 ④ 参加も寄付もしたくない
 ⑤ その他 ()

3

5. 役員の手について

(1) 町内会活動への協力についてどのようにお考えですか？(あてはまるものをすべてに○)

① 可能な限り協力できる ② 時間が合えば協力できる
 ③ 具体的な内容がわかれば可能な範囲で協力できる
 ④ 負担が少なければ協力できる ⑤ あまり協力したくない
 ⑥ 時間的に協力できない ⑦ 体力的に協力できない
 ⑧ その他 ()

(2) 役員になることをどのようにお考えですか？(あてはまるものをすべてに○)

① 役員になりたい ② 時間が合えばやってもよい
 ③ 負担が少なければやってもよい ④ 負担を考えるとやりたくない
 ⑤ 誰もやる人がいない場合はやってもよい
 ⑥ 今はなれないが、数年後にやってもよい(定年後等)
 ⑦ 時間的になれない ⑧ 体力的になれない
 ⑨ その他 ()

(3) もし、あなたに役員になってほしいと声かけがあった場合、どのような条件があると引き受けても良いと思いませんか。(あてはまるものをすべてに○)

① 役員の仕事の縮小や分担がされ、負担が軽減されている
 ② 仕事や家庭を優先することができる ③ 任期が必ず守られる
 ④ 同世代の人が役員をやっている ⑤ 報酬が支払われる
 ⑥ 日らの意見や提案を受け入れてくれる ⑦ その他 ()

5. その他、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。(自由記述)

9月に起きた地震をうけ、町内会に対して防災にまつわる要望があればお書きください。

(自由記述)

6. 回答者さまご自身についてお伺いします。

※し文書なければ、お名前、ご連絡先をご記入ください(住所ではありません)。なお、いただいた個人情報は本町内会の運営に関する検討のみに使用します。

(性別)	男・女	(年代)	歳代	(小学生以下の子ども有無)	有・無
(お名前)				(電話番号)	班

ご協力ありがとうございました

4

書面総会資料様式

令和3年〇月〇日

町内会員各位

〇〇町内会
会長 〇〇 〇〇

令和3年度 ●●●町内会定期総会について（通知）

時下ますますご清栄のことと存じます。平素より、町内会活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和3年〇月〇日（〇）に開催を予定しておりました定期総会ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面により決議を行うことといたしました。

つきましては、別紙「総会資料」をご覧ください、下記の書面表決書に必要事項をご記入の上、令和3年〇月〇日（〇）までにご提出ください。

議案の可決につきましては、ご提出いただいた書面表決書のうち、賛成が過半数を占める場合に可決とさせていただきます。

ご多忙とは存じますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【提出先】

会長：〇〇 〇〇

住所：

電話・FAX：

Eメール：

切り取り

書面表決書

令和3年度〇〇町内会総会について、下記の通り書面をもって表決いたします。

議案	賛成	反対
1. 令和2年度事業・会計報告		
2. 令和3年度役員選出		
3. 令和3年度事業計画（案）・予算（案）		

※各議案について、「賛成」、「反対」のいずれかの欄に〇を記入してください。

※「賛成」、「反対」の両方に〇がある場合及び〇印がない場合等には、その議案について賛成とみなします。

ご意見がありましたら下の枠にご記入ください。

住所：

氏名：

印

